

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月28日作成

事業番号	6374	担当課等	社会教育課 美術館							
事務事業名	美術館運営委託事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	04	事業開始年度	平成 10 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	II 文化芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	② 美術館の充実・活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	美術館業務の一部を委託し、美術館運営の効率化を図る。								
対象	観光客及び町民								
内容	美術館における学芸業務の一部及び喫茶室運営管理業務を、(有)コミュニティサービスに委託する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	8,899,466	8,103,454	8,724,800	
コスト 人件費	常勤職員	732,790	716,436		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	732,790	716,436		
総事業費	9,632,256	8,845,798	9,441,236		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	9,632,256	8,845,798	9,441,236	
財源合計	9,632,256	8,845,798	9,441,236		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
現代作家展	地元作家の紹介	回	3	4	3
喫茶室営業日数	喫茶室営業	日	312	311	311
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
総入館者数	事業の成果	人	20,989	20,609	13,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町が運営する美術館及び付帯施設の業務のため
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 専門的な学芸業務や運営管理業務を委託することにより、人件費が抑制でき効率的な運営ができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 展覧会企画や教育普及活動、専門的な店舗経営を委託することで、円滑な運営ができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 広く観光客及び町民を対象としている。
令和元年度までの自己評価または改善点	美術館事業の円滑な運営に効果があった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	美術館の運営管理については、学芸業務等に実績をあげていることから継続して委託をする。平成30年4月から委託となった喫茶室運営管理については、効率的な業務を検討していく。 新型コロナウイルス感染症の感染防止による休館などにより入館者が減少したが、今後は感染症対策を充分にした上で入館者の増を図る。	
令和3年度以降の方向性	同上	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	現在の委託形式を継続する。
------	----------	---------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

ミュージアムカフェの採算性を向上させる必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月28日作成

事業番号	6378	担当課等	社会教育課 美術館							
事務事業名	展覧会開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	04	事業開始年度	平成 10 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	Ⅱ 文化芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	② 美術館の充実・活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	湯河原に残された文化遺産を後世に伝える役割を担いながら、観光客や町民が湯河原の魅力を感じられるよう、美術資料を活用した展覧会を企画する。また、生涯学習施設として作家展や講座などの充実に努めるとともに、学校と連携して児童生徒の教育支援を行う。								
対象	観光客、町民及び児童生徒								
内容	特別展として伊藤彰耳展、平松礼二館15周年記念展「睡蓮交響曲」(前期)を開催する。常設館では年4回のゆかりの作品を展示する他、現代作家展を開催する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	6,728,915	5,570,807	5,082,275	
コスト 人件費	常勤職員	4,396,744	5,938,752		
	会計年度任用職員等	6,755,287	7,033,492		
	人件費合計	11,152,031	12,972,244		
	総事業費	17,880,946	18,543,051		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	17,880,946	18,543,051	19,110,308	
	財源合計	17,880,946	18,543,051	19,110,308	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
平松礼二館・常設館企画展	展覧会開催	回	4	4	4
特別展	展覧会開催	回	1	1	2
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
総入館者数	事業の成果	人	20,989	20,609	13,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	町所有の美術品及び借用品のため、直営が望ましい。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	人件費、必要経費を勘案すると採算性は低いといえるが、文化及び観光への貢献度は高いと考える。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	資料を活用した展示及び関連した教育普及活動を行った。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	美術館の活動を広く一般に公開している。 また、町民料金を設けることにより、町民に安価で公開している。
令和元年度までの自己評価または改善点	事業を計画通り実施した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	町所有の美術品及び借用品のため、直営が望ましい。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	受付・監視業務を委託したことで、人件費が増加した。 新型コロナウイルス感染症の感染防止により入館者などにより入館者が減少したが、今後は感染症対策を充分にした上で入館者の増を図る。	
令和3年度以降の方向性	美術館の主要事業であるため、現状維持とする。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	美術館の主要事業であるため、現状維持とする。
------	----------	------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

来館者を増やすような企画展等を展開いただきたい。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月28日作成

事業番号	6405	担当課等	社会教育課 美術館							
事務事業名	アトリエ公開事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	04	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P137 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	Ⅱ 文化芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	② 美術館の充実・活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	子供たちの情操教育や町民の生涯学習に寄与するとともに、観光客の誘致を図る。								
対象	観光客、町民及び児童生徒								
内容	美術館内に設けた「平松礼二アトリエ」を公開し、併せて平松礼二名誉館長によるアトリエ案内や学芸員による解説を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	954,790	177,409	574,594		
	人件費					
	常勤職員	1,465,581	1,484,688	1,432,873		
	会計年度任用職員等	1,688,822	1,780,000	2,074,134		
	人件費合計	3,154,403	3,264,688	3,507,007		
	総事業費	4,109,193	3,442,097	4,081,601		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	4,109,193	3,442,097	4,081,601		
	財源合計	4,109,193	3,442,097	4,081,601		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
平松画伯によるアトリエ案内		事業に関するイベント開催	回	32	6	1
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
アトリエ案内参加者		イベントの成果	人	404	96	10

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 美術館内の施設であり、町が実施することが望ましい。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	3 施設整備に経費がかかっているが、事業の独自性が高く、効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 来館者へのアトリエ案内や小中学生のアトリエ訪問などを実施し、効果を上げている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 入館者は見学自由としている。
令和元年度までの自己評価または改善点	平松名誉館長による案内の回数は少なかったが、画家のアトリエが見学できるという独自性や話題性があり、誘客効果及び生涯学習へ効果があった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	事業の性質上、町の事業として実施することが望ましい。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	受付・監視業務を委託したことで、人件費が増加した。 多くの観覧者が見学できるようアトリエの通常公開時間を30分延長した。 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、アトリエ案内を一時中止とした。	
令和3年度以降の方向性	アトリエ案内については感染症対策を講じ、再開する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	誘客効果、生涯学習へ貢献している。
------	----------	-------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月28日作成

事業番号	11689	担当課等	社会教育課 美術館							
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	04	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P137 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	Ⅱ 文化芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	② 美術館の充実・活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	美術館の環境等の整備を行い、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図る								
対象	従事者(職員、委託先従業員)、観光客、町民及び児童生徒								
内容	美術館に新型コロナウイルス対策用備品や消耗品を購入し、観覧料のキャッシュレス決済を整備する								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費			3,171,856		
	人件費			716,436		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	716,436		
	総事業費	0	0	3,888,292		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	3,888,292		
	財源合計	0	0	3,888,292		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
感染症対策実施入館者		入館者シート等対策者	人			13,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
キャッシュレス決済		非接触等入館者	人			150

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
令和元年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性質上、町の事業として実施することが望ましい。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	新規事業	
令和3年度以降の方向性	今後も感染症対策が必要であると考えられるため、継続実施する。また、新たな感染症対策についても検討していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	来館者等の感染症対策を実施できた。
------	----------	-------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月28日作成

事業番号	11670	担当課等	社会教育課 美術館							
事務事業名	美術館施設整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	04	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P137 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	Ⅱ 文化芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	② 美術館の充実・活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	美術館のイメージアップや環境改善のため、美術館施設の整備をする。								
対象	美術館利用者								
内容	空調更新工事及び雨漏り調査・設計委託								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	6,137,360	968,000	15,095,300		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	6,137,360	968,000	15,095,300		
財源内訳	国庫支出金			12,785,000		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	6,137,360	968,000	2,310,300		
	財源合計	6,137,360	968,000	15,095,300		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
施工件数			件	6	1	1
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
総入館者数		事業の成果	人	20,989	20,609	13,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町所有の施設であるため
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 省エネ化及び環境が改善された
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 老朽化した施設を更新できた
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 美術館利用者が対象のため
令和元年度までの自己評価または改善点	高圧引込ケーブルの改修工事を実施し、環境が改善された。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	町所有の施設であるため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	耐用年数が過ぎていた空調設備を更新することができた。また、建物や設備が老朽化しているため、引き続き必要な部分の改修を検討する。	
令和3年度以降の方向性	建物や設備が老朽化しているため、引き続き必要な部分の改修を検討する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	環境を維持するため、継続して必要な整備を行う必要がある。
------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

公共施設個別施設計画のロードマップに基いた施設のあり方の検討を進める必要がある。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--